

四谷の

千枚田だより



第 88 号



環境整備活動

十一月二十一日(日)、連谷お助け隊・保存会は四谷地区大林地内の市道、生活道の環境整備を行った。



この、活動は「あいち森と緑づくり事業」の助成を受け、高所作業車、ダンプなどをリリース。また、昨年度事業で物品調達したチェンソーや「愛知県ふるさと水と土指導員支援物資」の高梯子や高枝伐りなどをフル活用、隊員、会員のふれあい、明るい村づくりに貢献した。
もちろん、「皮肝」を肴にアサヒスーパードライもたくさん飲んだ。

収穫感謝祭 田吾作の餅つき大会

十二月五日、千枚田を守る会「田吾作」(代表小山秀夫)は恒例の収穫感謝祭・餅つき大会を催した。本年は田吾作主催、鞍掛山麓千枚田保存会、棚田っ娘、連谷お助け隊の協力でそれぞれのカラーを出し合った催しに地元や都市部の参加者に大いに喜ばれた。

棚田っ娘は五平餅の販売、お助け隊は趣向をこらしたバザーを出店したものの、食べ放題の夕ダの餅には勝てなかったが「ふれあい」を感じた充実した一日であった。



会場では、初代田吾作代表故今泉良治氏の業績を讃え、有機、無農薬を推奨する佳き仲間、川西忍(会員)が率いるミュージシャン連中による追悼コンサートが催された。
聞き入る大勢の参加者を天国からくちやくちやの涙顔感涙で「このやろーんとうめ」と喜んでいた。

連谷お助け隊表彰さる

十一月十四日、新城ライオンズクラブは創立五十周年を記念して「こころを込めて地域に感謝する集い」を開催。地域のボランティア活動に尽力する十二団体、個人六名に感謝状、金一封が贈呈されました。

その一団体として連谷お助け隊は「四谷の千枚田」を中心にした環境整備活動、都市住民との農作業体験学習活動、地元企業等のボランティア支援関連活動に積極的に参加。



主事業としては校区内の県道、市道、生活道などの日陰箇所の枝打ち、除伐作業等による住環境改善整備活動、お田植え感謝祭「四谷の千枚

田を守り抜いた偉大な先人への鎮魂の灯火」と題して千枚田をロウソクで灯し、幽玄な世界を醸し出す「みんなで灯そう千枚田」を開催、耕作者の慰労と市内外の来訪者に「癒し」を提供するなど「四谷の千枚田」を中核にしての環境保全・維持や、都市交流を通してのボランティア実践活動、校区内の地域づくりや地域活性化に関わる活動が評価され、受賞した。

バスツアー

豊橋鉄道ではラッピングバスで行く「奥三河再発見ツアー」を知っているようで知らない奥三河の自然と文化とふれあいの旅を本年十九回をシリーズで運行している。



礼状 ① COP10開催去場祝祭 (既報85号)

前略、さて、この度の出張に際しましては、ご多忙中にもかかわらずご高配をいただき、誠にありがとうございました。とても丁寧なご説明等を賜り、来月に控えた生物多様性条約第十回締約国会議(COP10)に向けた準備及び貴地区における自然環境保全への取組の状況等について知見を深めることができました。この知見を私どもの職務に反映するよう努めてまいりたく存じます。後略

平成二十二年九月十七日 衆議院調査局環境調査室 主席調査員 花房久美

礼状② 第十六回ふるさと水と土基金全国研修会 講演お礼方々来訪 (既報85号)

前略、さて、ようやくご念願が叶いまして、四谷の千枚田を拝見させていただきました。機会に恵まれましたところ、突然のご連絡にもかかわらず、ご多忙のなか、ひとかたならぬご高配ご厚情にあざかりまして、まことにありがとうございます。おかげさまで、予てよりお話しただいておりました様々な取組について、現地のおいしい空気を吸い込みながら、湧き出る水の気配を感じながら拝聴することができました。中略、今回、改めましてお聞かせいただきました貴重なお話を出来る限り活かしながら、農業、農村の振興に、私も微力ながら、皆様と力をあわせて取り組んで参りたいと存じます。後略

農林水産省農村振興局整備部農地資源課(耕作放棄地対策検討室)

課長補佐 水間啓彦

十一月十八日、十二月七日、民族

文化財「花祭り」を文化遺産にーとラッピングしたバスで四谷の千枚田を訪れ、千枚田の歴史、保存、継承、文化等々の説明に参加者は好意的な感触で耳を傾けて頂いた。

ふるさと水と土指導員会議

十二月九日、JA 東愛知名倉出張所会議室・現地において県内各地のふるさと指導員、県庁及び管内行政の担当者をお招きし、表記の会議が催され、林 義明、原田 英史、小山 舜二が出席。名倉地区営農推進協議会の事例発表や指導員、行政を交えた関連な意見交換会がなされ、地域活性化に有意義な情報交換ができた。



行 平成二十二年十二月十五日
鞍掛山麓千枚田保存会
文責 小山 舜二